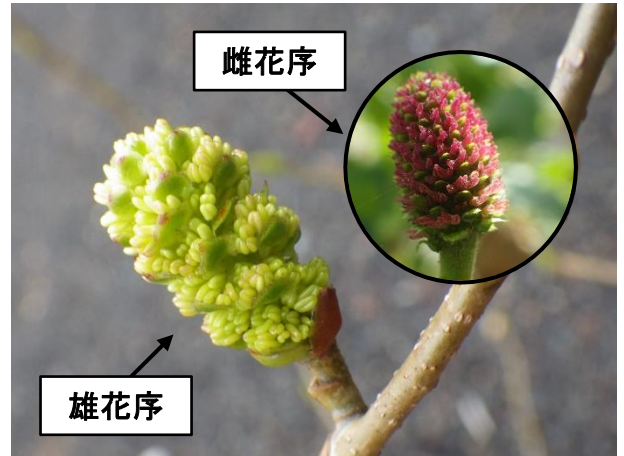


## 植物多様性センターの「かかあ天下と亭主関白」

学習園では、早春にカバノキ科ハンノキ属を2種見ることが出来ます。伊豆諸島ゾーン火山性草地エリアのオオバヤシャブシと、奥多摩ゾーン湿性林エリアのハンノキです。ハンノキ属の多くは雄花序のほうが枝の上につく「亭主関白」ですが、オオバヤシャブシは逆で「かかあ天下」になります。ハンノキは1月下旬～2月上旬、オオバヤシャブシは3月上～中旬頃が、学習園での開花期です。



オオバヤシャブシ: 芽鱗に包まれる雌花序と裸芽の雄花序



オオバヤシャブシ: 雌花序は赤く、雄花序は黄緑色で太短い



ハンノキ: 雄花序は長い尾状の裸芽、雌花序は小さな球状裸芽



ハンノキ: 雄花序の蕾は赤いが開花すると花粉で黄色く見える